

下水道 未来へつなぐ 水の旅



# よみがえる水



平成26年10月 いばらきの下水道

# 目 次

## 安心で快適な生活環境づくり

### ○下水道の計画

- 1 生活排水ベストプラン…………… 1
- 2 流域別下水道整備総合計画…………… 2

### ○下水道の普及状況

- 1 市町村別公共下水道概要…………… 3
- 2 地域別下水道普及率…………… 6
- 3 流域別下水道普及率…………… 7
- 4 都道府県別下水道事業（普及率・処理人口・処理面積）…………… 8
- 5 雨水対策・合流改善…………… 9

### ○普及・接続支援

- 1 都道府県別汚水処理人口普及率…………… 10
- 2 市町村下水道整備支援事業…………… 11
- 3 湖沼水質浄化下水道接続支援事業…………… 11
- 4 市町村公共下水道受託事業…………… 11

### ○湖沼の水質改善

- 1 排水基準…………… 12
- 2 霞ヶ浦・潤沼・牛久沼流域別下水道普及率…………… 14

### ○広報啓発活動

- 1 広報啓発活動…………… 17

## 安全で計画的な施設の構築と運営

### ○流域・特定公共下水道

- 1 流域・特定公共下水道事業概要…………… 19

### ○流域下水道

- 1 霞ヶ浦湖北流域下水道…………… 21
- 2 霞ヶ浦常南流域下水道…………… 23
- 3 那珂久慈流域下水道…………… 25
- 4 霞ヶ浦水郷流域下水道…………… 27
- 5 利根左岸さしま流域下水道…………… 28
- 6 鬼怒小貝流域下水道…………… 29
- 7 小貝川東部流域下水道…………… 30
- 8 那珂久慈ブロック広域汚泥処理…………… 31
- 9 鹿島臨海特定公共下水道…………… 32

### ○処理場の処理状況

- 1 処理場の処理状況…………… 33
- 2 汚泥処理処分状況…………… 34

### ○下水道の長寿命化と下水道BCP（事業継続計画）

- 1 長寿命化対策…………… 35
- 2 下水道BCP（業務継続計画）の策定…………… 35

# 目 次

## 安定した経営基盤の確立

### ○下水道事業の経営（公営企業会計）

1	地方公営企業法の適用	36
2	経営計画	36
3	公営企業会計と官公庁会計の相違	36
4	公営企業会計の予算	37
5	本県の下水道事業費の推移（総事業費）	38
6	下水道事業の財源	38

### ○再生可能エネルギー

1	風力発電施設	39
2	太陽光発電施設	39

## （資料編）

○	汚水処理施設	40
○	下水道のしくみ	41
○	用語集	43

（参考）「茨城県下水道事業経営計画」と「よみがえる水」の関係

茨城県下水道事業経営計画		よみがえる水	
安心で快適な生活環境づくり	下水道の普及及び接続促進	下水道の計画	生活排水ベストプラン 流域別下水道整備総合計画
	湖沼等の水質改善 広報啓発活動	下水道の普及状況	市町村別公共下水道普及率 流域別普及率 都道府県別下水道事業（普及率・処理人口・処理面積） 雨水対策・合流改善雨水対策整備率
		普及・接続支援	都道府県別汚水処理人口普及率 市町村下水道整備支援事業 湖沼水質浄化下水道接続支援事業 市町村公共下水道受託事業
安全で計画的な施設構築と運営	長寿命化対策の推進	湖沼の水質基準	排水基準 ヶ浦・涸沼・牛久沼流域別下水道普及率
	震災対策と危機管理対応の強化	広報啓発活動	広報啓発活動
		流域・特定公共下水道一覧	流域・特定公共下水道事業概要 ヶ浦常北流域下水道 那珂久慈流域下水道 ヶ浦水郷流域下水道 利根左岸さしま流域下水道 鬼怒小貝流域下水道 小貝川東部流域下水道 那珂久慈ブロック広域汚泥処理 鹿島臨海特定公共下水道
安定した経営基盤の確立	維持管理の充実 財政運営と経営の効率化	処理場の処理状況	処理場の処理状況 茨城県下水処理場における汚泥処理処分状況
	地球温暖化対策	下水道の長寿命化とBCP（事業継続計画）	長寿命化対策 BCP（業務継続計画）の策定
	再生可能エネルギー	下水道事業の経営	地方公営企業法の適用 公営企業会計と官公庁会計の相違 公営企業会計の予算 本県の下水道事業費の推移（総事業費） 下水道事業の財源
			風力発電施設 太陽光発電施設



## 1 都道府県構想『生活排水ベストプラン』（H21.10第2回改定）

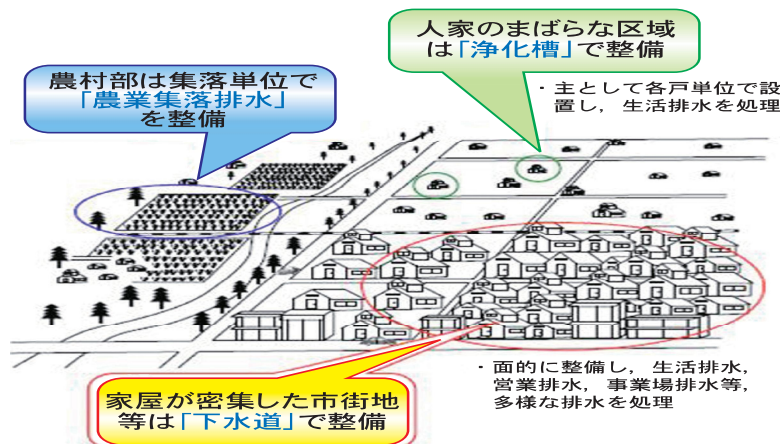
生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図り、集合処理（下水道、農業集落排水施設）と個別処理（合併処理浄化槽）の汚水処理施設の整備・維持管理を最も効率的に進めるためのマスタープランであり、地域の特性により、最も適した整備手法を選択し、生活排水対策を推進していくものです。

生活排水ベストプランでは、概ね37年度に県内全域の汚水処理対策を概成することを目標として掲げています。

### 生活排水ベストプランの目標値

区分	基準年 (H18)		短期 (H27)		中期 (H37) 整備完了		
	整備人口(人)	普及率(%)	整備人口(人)	普及率(%)	整備人口(人)	普及率(%)	
集合処理	下水道	1,544,471	51.7	1,893,855	64.2	2,419,149	83.1
	農業集落排水施設等	150,985	5.1	190,949	6.5	253,967	8.7
	コミュニティプラント	15,375	0.5	7,000	0.2	2,635	0.1
	小計	1,710,831	57.3	2,091,804	70.9	2,675,751	91.9
個別処理	市町村設置型	4,071	0.1	18,807	0.6	49,166	1.7
	個人設置型	446,830	15.0	146,147	5.0	187,783	6.4
	段階整備分	—	—	337,994	11.5	—	—
	小計	450,901	15.1	502,948	17.0	236,949	8.1
生活排水処理合計	2,161,732	72.4	2,594,752	88.0	2,912,700	100.0	
茨城県総人口	2,986,115	—	2,950,000	—	2,912,700	—	

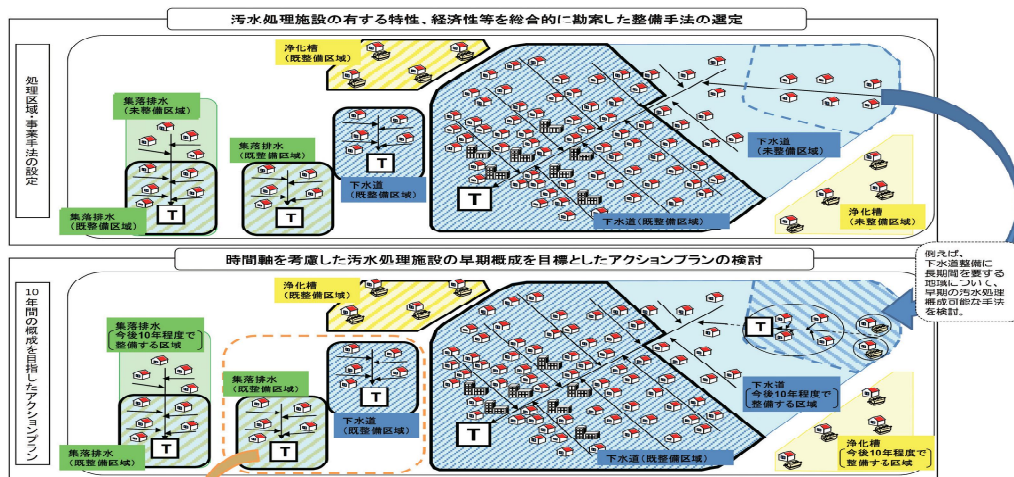
★長期においては、下水道施設などの維持管理を行っていきます。



### (参考)

#### ○アクションプランの策定

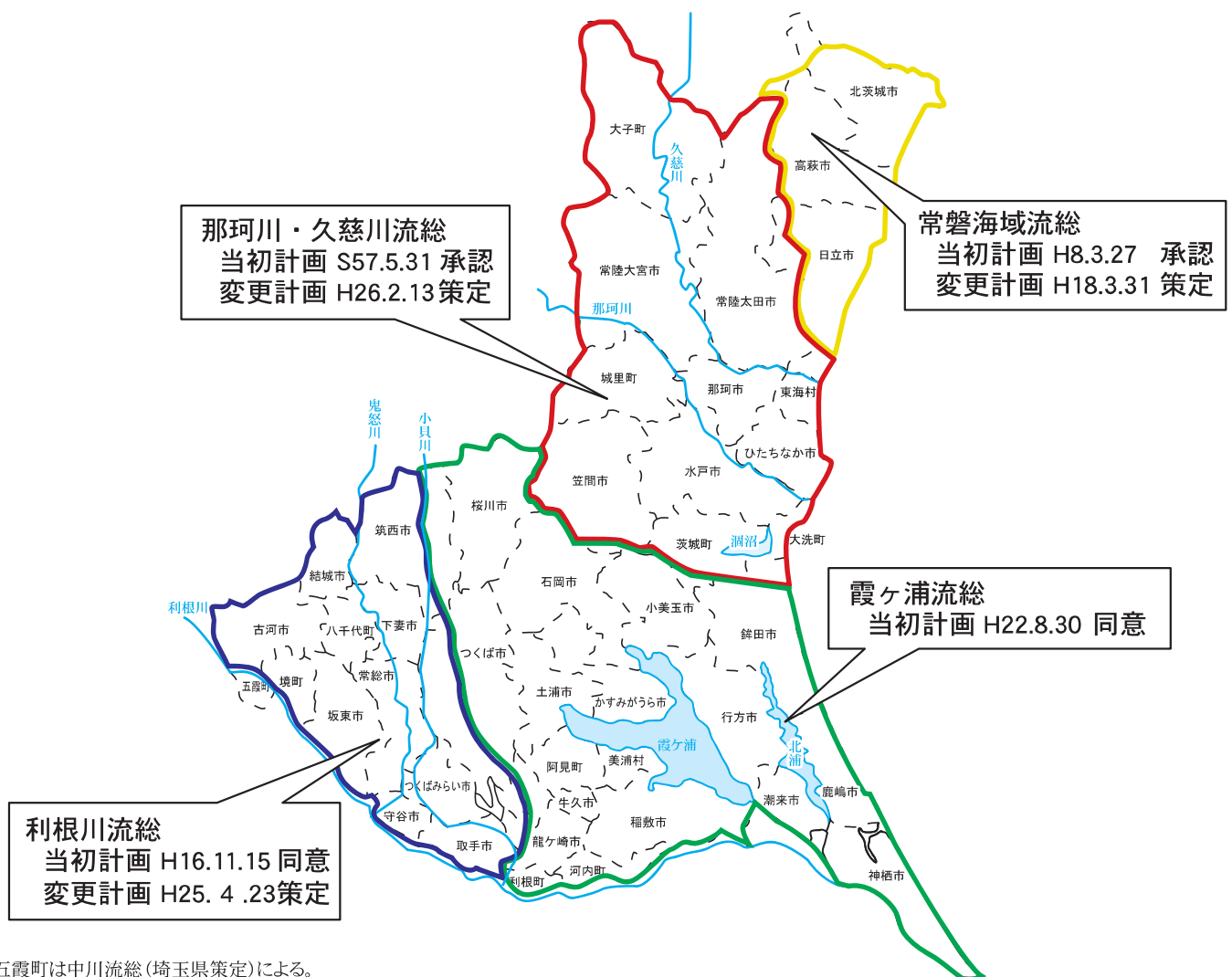
アクションプランとは、早期かつ低コストで実施可能な整備手法を用い、10年後における汚水処理未普及解消の概成を目標とした下水道整備の計画をいいます。汚水処理施設を整備する区域の設定は、市町村の体力（ヒト・モノ・カネ）や汚水処理施設の整備状況を鑑み、10年間の整備計画を策定します。



## 2 流域別下水道整備総合計画（下水道法第2条の2）

環境基本法第16条に基づく水質環境基準の類型指定水域について、水域内の環境基準を維持達成するための下水道整備に関する総合的な基本計画です。本県では、常磐海域、利根川、那珂川・久慈川、霞ヶ浦の4つの水域においてそれぞれ流域別下水道整備総合計画（流総計画）を策定しています。

流総計画名	処理場別	計画処理水質 (mg/L)				策定年月日	基準年度	目標年度	備考
		BOD	COD	全窒素	全りん				
常磐海域流総	流域下水道	15	—	—	—	H18.3.31	H12	H32	見直中
	広域組合	15	—	—	—				
	単独公共下水道	15	—	—	—				
利根川流総	流域下水道	4～6	—	—	—	H25.4.23	H18	H38	
	広域組合	6	—	—	—				
	単独公共下水道	6	—	—	—				
那珂川・久慈川流総	流域下水道	15	—	—	—	H26.2.13	H21	H37	
	広域組合	15	—	—	—				
	単独公共下水道	5	8	12	0.7				
霞ヶ浦流総	流域下水道	—	6	3	0.2	H22.8.30	H16	H37	
	単独公共下水道	—	8	10	0.5				



※五霞町は中川流総（埼玉県策定）による。  
 ※北茨城市の一部は夏井川・鮫川等流総（福島県策定）による。